



まいづる市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No. 176

令和3年(2021)7月31日

主 な 内 容	6月定例会のあらまし	2
	常任委員会の審査報告(6/2提案分)	2
	各会派討論の内容(6/2提案分)	3
	追加議案の概要(6/29提案分)	5
	予算決算委員会の審査報告(6/29提案分)	5
	各会派討論の内容(6/29提案分)	6
	議案の採決結果	8
	一般質問	10
	決議	19
	意見書	23
議会活動報告	24	
議員定数に関する意見交換会	26	
広報に関するアンケート	27	

- 令和3年度一般会計補正予算を可決
- オンラインを活用した委員会が開催できるよう「舞鶴市議会委員会条例」を一部改正
- 請願者の記名・押印を署名で可能となるよう「舞鶴市議会会議規則」を一部改正
- 「山陰新幹線整備及びJR小浜線、JR舞鶴線の地方在来線維持・活性化に係る意見書」を可決

議会だよりはこのコードからご覧いただけます。



議員定数に関する意見交換会を開催しました

関連記事は26ページ



6月定例会のあらまし

- **新型コロナウイルス感染症対策として、市内小規模事業者への市独自の支援金の給付をはじめ、ワクチンの集団接種の安全で円滑な実施のため臨時の空調設備の整備や、市民の皆さんの利便性向上を図るための「書かない窓口システム」の導入など、総額3億2831万円の令和3年度一般会計補正予算(第4号)を可決**
- **コロナ禍において長引く自粛、経済の低迷により、厳しい状況にある市民生活や事業者への支援を強化・拡充する緊急追加対策を講じるものとして、本会議最終日に追加提案された令和3年度一般会計補正予算(第5号)8460万円を可決**

令和3年舞鶴市議会6月定例会は、6月2日から6月29日までの28日間開催されました。市長から提案された令和3年度一般会計補正予算のほか、条例の一部改正などの20議案を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決・同意しました。

議会提案の議案は、委員会提案として、委員会条例や会議規則の一部改正、委員定数の変更の3件を可決。また、議員提案の決議1件を可決するとともに、2件の意見書については、1件を否決し、1件を可決しました。

予算決算委員会の主な審査内容

専決処分の承認を
求めることについて
(令和2年度一般会計
補正予算(第13号))

地方債の補正

Q 合計約3億円の増減の主な理由は

A 交付税措置のない起債の借入を抑制したものや、入札等で事業費が減少したものの等を減額し、市民交流施設整備事業費等、施設の性質によって充当率の高い起債に変えたものを増額した。

令和3年度一般会計
補正予算(第4号)

スマート窓口推進事業費

Q 経費のほとんどが委託費に計上されているが、窓口業務も委託するのか。ランニングコストの想定は

A 委託するのは、システムや機器の導入業務一式であり、窓口業務を委託するものではない。

次年度以降は、消耗品や発行手数料などのランニングコストを見込んでいく。

再犯防止推進計画策定経費

Q 計画策定懇話会の開催回数と委員の構成は

A おおむね4回程度の開催を考えており、京都保護観察所等の関係行政機関、また、学識経験者として大学教授、さらには舞鶴地区保護司会等の市内関係団体を中心に委員を依頼予定である。

Q 計画策定期間は

A 7月から懇話会を開催し、年度内の計画策定をもって終了予定である。

私立認定こども園移行
改修費支援事業費補助金

Q 認定こども園に移行すれば、待機児童解消への効果はあるのか

A 本園については新たに0歳児、2歳児の受け入れを設定されるため、待機児童解消に繋がる一定の効果はある。

子育てにやさしい
まちづくり事業費

Q 「ICTを活用した次世代型子育て支援サービス」の利用者確保の方策は

「ICTを活用した次世代型子育て支援サービス」の利用者確保の方策は

A 出産や転入等の手続で窓口へ提出した情報のデジタル化や、あそびあむの入館受付申請がワンタッチで行える入館システムを加えるなどにより、利用率を高めたい。

新型コロナウィルスワクチン接種体制確保事業費

Q 集団接種会場の代替地に係る市民の移動方法についての対策は

A 中舞鶴地域においては、臨時バスの配車を考えており、その詳細については、ワクチン接種コールセンターにご確認いただきたい。また、広報等でお知らせする。

中丹地域有害鳥獣処理施設
一時保管庫整備事業費

Q 捕獲数が増加する中、一時保管庫が3カ所足りぬため、平地内に1基増設するが、

捕獲数は1回につき、3名から4名。時給は1600円で3時間程度。交通費は1回当たり600円で積算している。

常任委員会の主な審査内容

市民文教委員会の
主な審査内容

手数料条例の一部を
改正する条例制定

個人番号カードの発

他の地域でいっばいになった時の対応は

A 保管状況は市で把握しており、毎週水曜日、保管状況の多いところから福知山の処理施設に回収してもらうことに対応している。

新型コロナウィルス感染症対策事業継続月次支援金給付事業費

Q 対象者の予定件数は

A 法人で約120件、個人で約80件の申請を見込んでいる。

地域運動部活動推進事業費

Q 練習1回当たりの指導者の人数および時給は。また、練習会場への交通費も事業費に含まれているのか

A 指導者は1回につき、3名から4名。時給は1600円で3時間程度。交通費は1回当たり600円で積算している。

行事務が市町村長から地方公共団体情報システム機構が行う事務に変更されたことに伴い、個人番号カードの再交付に係る手数料を削除するもの。

本会議において付託された議案は、市民文教委員会1件、産業建設委員会6件、総務消防委員会8件、予算決算委員会2件であり、それぞれの委員会で審査しました。

令和3年6月29日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。

常任委員会の審査報告
討論 (6/2当初議案)

産業建設委員会の
主な審査内容

公有水面埋立てに
関する意見について
(下安久地区及び和田地区)

国際ふ頭の北東側に新たに用地を拡大するため、公有水面埋立てに関して、京都府知事から市長への意見照会に対し「異議なし」とする意見を述べるもの。
Q 埋立工期および土砂の調達先は
A 工期は令和3年度からおおむね10年間。同時に国・府からは、着手予定の臨港道路上安久線で発生した土砂の受け入れを予定している旨、伺っている。

総務消防委員会の
主な審査内容

公募対象公園施設
設置等予定者選定
委員会条例制定

赤れんがパークの管理運営において、公募設置管理制度を活用することに伴い、公募対象施設に係る設置等予

定者の選定等を公平かつ適正に行うための選定委員会を設置する必要があるため、本条例を制定するもの。

Q 公募設置管理制度の特徴、メリットは

A 設置管理許可期間が通常は最長10年のところ、最長20年まで可能であることや、施設を設置する際の建ぺい率が通常2%のところ10%の上乗せが可能であることが特徴で、事業者にとって、長期的な投資・回収が可能となり、提供できるサービスの幅が広がる。

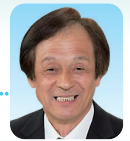
Q 選定委員会の委員は、どのような人を想定しているのか

A 対象施設に重要文化財があることや観光拠点であることを踏まえ、その観点での有識者を想定している。

Q 現在予定している公募対象区域は

A 赤れんが2号棟から5号棟までとその周辺。駐車場および文庫山周辺と一体的な管理運営を図っていく予定。

赤れんが周辺開発は
市民合意で条例へ



日本共産党議員団
小西洋一

14議案に賛成し、3議案に反対する。

第45号議案は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が、これまで本市に国から16億9千万円交付され、特別定額給付金や持続化給付金等、コロナ禍で苦勞しておられる市民の暮らしと営業を支えてきた。今回の補正でも「事業継続月次支援金給付事業費」や「北近畿タンゴ鉄道支援事業費補助金」等、市民要望の強い予算であり賛成する。

第47号議案お



市民みんなの財産「赤れんが倉庫群」

よび51号議案は、10年間で30億円で進める赤れんが施設の周辺整備事業のための条例制定議案。市外の大手民間事業者に頼らず、全て「メイドインまいづる」で進めるべき。事業計画の市民合意が不十分であり反対する。

第56号議案は、舞鶴国際ふ頭の第2期工事のために、公有水面の埋め立てに「異議なし」と府に進言する議案。第2期工事そのものが計画ありきで多大な税金を投入する巨大事業であり、再検討すべきで反対する。

新型コロナウイルス
感染症対策を評価



創設クラブ議員団
川口孝文

全議案に賛成する。

各議案は、地方税法の改正に伴い所要の改正を行うものや、公募型補助金等の交付対象となる者の選定を、公平・適正に実施するため、必要な事項を定めるものなど、必要かつ適切な予算、改正、制定と思想する。

令和3年度舞鶴市一般会計補正予算(第4号)では、特に、新型コロナウイルス感染症対策事業継続月次支援金給付事業費、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費



順調に進むワクチン集団接種

は、適時適切に必要な予算を計上されているものと評価する。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で経済的に苦しんでいる方々の声も聞き及んでいる。給付対象の間口を広げるなど支援給付の枠組みの再構築と、新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたときの、プレミア率の高い市内商品券の再度の発行など、思い切った消費向上対策が不可欠と考える。この点を強く申し添え、賛成する。

令和3年6月29日の最終本会議において、提案された議案に対して討論をしました。 **討論** (6/2当初議案)

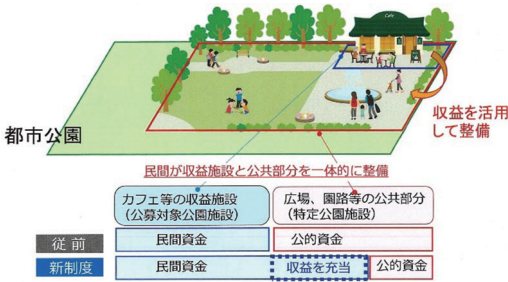
討論

民間活力を最大限に生かすPark-PFI



新政クラブ議員団
眞下隆史

全議案に賛成する。
公募対象公園施設等
予定者選定委員会条例
については、赤れんが
周辺等まちづくり構想
と深く関連し、赤れん
がパークに多くの誘客
と経済効果が期待され
る。市は民間活力を最



京都府北部の一大交流拠点へ

情報提供をお願いする。
一般会計補正
予算ではコロナ
ワクチン接種体
制「舞鶴方式」
が好評であり、
補正では冷房設
備を設置され、
今後も快適な接
種体制の確保を
高く評価する。

大限に生かしたパーク
運営を目指し、長期に
わたる協議に際した課
題の解消策として、
公募設置管理制度
(Park-PFI)の活用で
対応され、設置管理許
可期間の延長・建ぺい
率の拡大・占用物件の
特例等、公園管理者の
財政負担を軽減しなが
ら公園の質・利便性・
魅力の向上が期待され
る。ただし、この新設
された制度Park-PFI
と、平成11年に施行さ
れたPFI法が同じと
の誤解が生じていると
感じるため、市民の皆
さんには正確な

討論

行政サービスの充実と新たな連携に期待



公明党議員団
松田弘幸

全議案に賛成する。
第45号議案令和3年
度一般会計補正予算の
スマート窓口推進事業
費では、転出入やおく
やみ等、手続に必要な
申請書記入の負担軽減
のため、書かない窓口
システムの導入やマイ
ナンバーカードによる
住民票や税の

証明書を交付
するため発行
機を設置する
もので、さら
なる行政サー
ビスの充実を
期待する。ま
た、人口減少・
少子高齢社会
が進む中、労
働力確保や将



証明書交付発行機

来に向けた持続可能な
社会づくりにおいて、
京都府北部5市2町が
連携することが重要で
ある。土木・建築分野
での技術職員の人材育
成、福知山公立大学等
と連携したデジタル社
会に対応する情報人材
育成の取り組みのほ
か、合同研修会など広
域連携事業に期待す
る。
他は、新型コロナウイルス
イルスワクチン接種体
制確保事業費や新型コ
ロナウイルス感染症対
策事業継続月次支援金
給付事業費等であり賛
成する。

討論

丁寧な制度説明を願う



市民クラブ舞鶴議員団
西村正之

全議案に賛成する。
公募設置管理制度、
いわゆるPark-PFI制
度を導入した新たな赤
れんがパークの民間活
力に係る議案では、赤
れんがパークが都市公
園である利点を生か
し、民間企業にとって
よりメリットのある制
度を採用するこ
とによって、硬
直化した公園管
理の在り方に一
石を投じようと
する取り組みは
一定の意義があ
る。
しかしながら、
赤れんがパーク
を有効的に運営
するために、ど

ういった民間活力を導
入するのか、従前から
検討されてきた経過が
ある中で、「Park-PFI」
という言葉が突如とし
て明るみになり、市民
や事業者間で混乱を招
いている。
今後は、誰もが分か
りやすく納得できる丁
寧な制度の説明に加
え、文化財である赤れ
んが倉庫の特徴を生か
した運営や、文庫山の
活用、防衛省の財源を
生かした周辺の整備
で、街並みがどう変わ
るのかなど、トータル
的な方向性を早期に示
されるよう願う。



Park-PFI制度を導入する赤れんがパーク

令和3年
6月定例会
のあらまし

追加議案の概要（一般会計補正予算第5号） 新型コロナウイルス感染症対策に係る新規事業

生活困窮者自立支援金支給事業費

- 感染症の影響が長期化する中、既に総合支援資金の再貸付の終了等によって、さらなる貸付を受けられない世帯または再貸付について不承認とされた世帯で、所定の要件に該当する世帯を対象に支援金を支給

ワクチン接種看護師支援事業費

- 接種会場で活躍していただく看護師を支援し、安全で円滑なワクチン接種を推進するため、集団接種に従事する看護師に対し就業支援金を支給

中小企業雇用調整助成金

- 国の雇用調整助成金を受け、従業員に休業手当を支払う事業主に対し、市が独自に助成金を上乗せして支援

海水浴場事業者支援事業費

- 新型コロナウイルス感染症の影響により2年連続で開設見送りとなったため、減収となった海水浴場関連の事業者に対し、翌シーズン以降の事業継続に向けた市独自の支援金を給付

事業者感染防止促進事業費

- 京都府独自の事業者感染防止対策である「京都府『京の飲食』安全対策向上事業」を府・市協調して促進するため、市内飲食店等の訪問調査結果（5月下旬から6月上旬）をもとに、府制度を補完・加速する補助制度を創設

学習環境整備支援事業費

- GIGAスクール構想により整備した端末は、今後、児童生徒が各家庭に持ち帰って学習を行うことが想定されることから、全ての家庭において学習に取り組めるよう、低所得者世帯を対象に、家庭の通信環境の整備等を市独自に支援

予算決算委員会の主な
審査内容

令和3年度一般会計
補正予算(第5号)

生活困窮者自立相談
支援事業費

Q 住居確保給付金事業について、収入基準額は世帯主の所得に限ったものか

A 申請者は世帯主であるが、基準となる収入については、世帯全体の収入額を基礎としている。

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費

Q 対象者への求職活動等の要件の内容は

A ハローワークに登録していただくことと並行して、月2回、職業相談を受けていただくこと。また、生活支援相談センターにおいて、月1回以上の面会を受けていただくこと。さらには、原則として週1回程度以上、事業所に対して応募か面接を行っていただくことを条件としている。

新型コロナウイルスワクチン接種看護師支援事業費

Q 就業支援金支給の要件は

A 市主催の研修を受講され、かつ複数回、出務いただいた看護師を対象としている。

新型コロナウイルス感染症対策中小企業雇用調整助成金

Q 本市の利用実績は

A 令和2年度実績で、2社に70万円を支出している。

Q 今回の補正予算で何件を予定しているのか

A 国の雇用調整助成金の原則な助成率が5月以降、10分の9に引き下げられたため、昨年度より申請が増えることが予想され、5月から7月までの3カ月間で50件の申請、1社4万円として200万円を見込んでいます。

新型コロナウイルス感染症対策海水浴場事業者支援事業費

Q 旅館業など何件を予定しているか

A 旅館業、飲食業で40件程度、海水浴場開設者で5地域を予定している。

新型コロナウイルス感染症対策事業継続月次支援金給付事業費

Q 酒類販売事業者への補助の拡充であるが、何件を予定しているか

A 法人で7件、個人で4件を予定している。

新型コロナウイルス感染症対策事業者感染防止促進事業費

Q 対象期間は

A 令和3年4月1日から12月末までを予定している。

新型コロナウイルス感染症対策学習環境整備支援事業費

Q タブレット端末の持ち帰りが可能となる時期は

A ガイドラインの原案を検討の上、2学期から持ち帰りができるよう、各学校と調整して進めていく。

Q モバイルデータ貸与の対象世帯数およびその算出根拠は

A 児童生徒の保護者向けに行ったアンケート調査で把握した低所得の世帯（児童扶養手当の受給世帯や市民税非課税世帯等、一定の所得要件を満たした生活困窮世帯）のうち、Wi-Fi環境がない約120世帯を対象とする。

Q 財源のうち「公立学校情報機器整備費補助金」とは

A モバイルルータの購入に充てる文部科学省定額の補助金（1台当たり1万円）である。

Q 低所得世帯以外でWi-Fi環境がない世帯への対応は

A 全世帯の95%で通信環境が整っていることから、基本的には、各世帯で整備していただきたい。



令和3年6月29日の最終本会議で追加提案された議案に対して討論をしました。 **討論** (6/29追加議案)

この議案では、長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少など生活への影響が長期化していることから、生活に困窮する世帯への支援や、新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場でご尽力いただいている看護師への支援、さらには、海の京都エリアである本市の海水浴場開設者・旅館業等へ、市独自の事業継続支援を行うもの、また、京都府『京の飲食』



市民の暮らし・事業者支援を評価する

討論

市民クラブ舞鶴議員団
田村優樹



安全対策向上事業は、施設、店舗内における感染リスクに対して、感染防止対策を講じる事業者に補助金の交付を行うものと認識する。学習支援では、整備した端末が有効活用できるよう、低所得者世帯を対象に、家庭の通信環境と通信費の支援を行うものなどがある。こうした事業の主な財源は国からの交付金で賄い、有利な財源が確保できたことは、コロナ禍で苦しむ市内事業者や市民の暮らしを支えることであると評価する。

今回の補正予算提案は、歳入歳出ともに8460万円であり、そのほとんどが国庫補助金である。一年以上も続く新型コロナウイルス感染症の影響により、生活の一変した毎日である。舞鶴市独自の新規の提案や、コロナ禍の長期化で給付期間が過ぎた事業への拡大提案等、もとの元氣な舞鶴に戻ってほしい支援だと理解した。ワクチン接種看護師への支援事業費



血の通った本市の救済支援事業に賛成

討論

新政クラブ議員団
田畑篤子



も本市独自の感謝を込めた手当の提案である。今後の64歳以下のワクチン接種実施に向けて、多くの看護師の方に引き続きお手伝いいただくようお願いしたい。この本市独自の看護師手当も含めて「舞鶴方式」のワクチン接種体制を高く評価する。また、GIGAスクール構想の整備は、子どもたちとその家族への支援として誰一人取り残さない学習環境の整備への提案である。現地現場主義の市政運営といえる血の通った救済支援事業の提案であり、賛成する。

長らくコロナ禍での住居確保や暮らしの資金に苦慮されている世帯に対して、国の制度改正で拡大と新規事業の提案。市の周知の取り組みの強化と丁寧な相談が必要と考える。新型コロナウイルスワクチン接種看護師支援事業費は、高齢者をはじめ64歳以下も集団接種、基礎疾患の方、エッセンシャルワーカーの優先接種の計画もあり、看護師への就労支援金を支給す



誰ひとり置き去りにしない支援を

討論

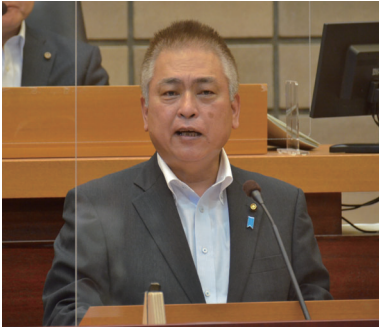
日本共産党議員団
小杉悦子



るもの。しかし、ワクチンの確保はまだ明確ではない。ワクチンの配分などの情報を早期に明らかにするよう国に要望し、事業が円滑に進むようお願いする。市内事業者への支援策は、緊急事態宣言が延長されたことによる対象事業者などを拡充化する。市の相談の強化をお願いする。小中学校の児童生徒全ての家庭で端末を家庭に持ち帰り学習できるように低所得者世帯への支援は、義務教育は無償の観点で、さらなる支援の充実を求める。

市議会ホームページ・Facebookの紹介

世帯で、所要の生活に困窮する世帯で、所要の



第60号議案に賛成す
 本件は、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業を拡大、もしくは新規に立ち上げるもので、補正額のほとんどが国からの交付金等で賄われる。事業は、新型コロナウイルス感染症による離職や廃業、休業等に伴う収入減により住むところをなくす恐れがある方を支援する「住居確保給付金事業」、新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困窮する世帯で、所要の

支援対象者に迅速で分かりやすい周知を

討論



創政クラブ議員団
川口孝文

要件に該当する世帯を支援する「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費」、本市の集団接種会場で従事されている看護師、今後新たに従事される看護師の方々を支援する「新型コロナウイルスワクチン接種看護師支援事業費」などとなっている。時宜を得た必要かつ適切な補正予算と思路する。対象者への迅速で分かりやすい周知、申請への素早い支給ができるよう、確実・迅速な対応に当たられたい。この点を強く申し添え、賛成とする。

を補填し、経営の



第60号議案に賛成す
 長引くコロナ禍で、国において制度改正された住居確保給付金事業や総合支援資金の再貸付が終了した方など、要件に該当する世帯を対象に支給される生活困窮者自立支援金支給事業費がある。こうした支援を必要とする世帯へ着実に支援が届くよう、プッシュ型で申請案内するなど、きめ細やかな対応が必要。国の雇用調整助成金を受ける事業主に対し、負担分の一部

市民サービスの着実な支援と充実を

討論



公明党議員団
小谷繁雄

安定化を図る助成金や本年も海水浴場開設を見送るため、海水浴場事業者などへの支援事業のほか、国の月次支援金の対象とならない売り上げが30%以上、50%未満の中小企業者や酒類販売事業者へ支援する事業継続月次支援金給付事業費は、中小企業者や小規模事業者に寄り添い、将来にわたる経営の継続を支援する本市独自の事業であり評価する。今後とも、ポストコロナ社会を見据え、市民サービス向上につながる支援をお願いする。

公式 Facebook の紹介



「市民に開かれた議会」に向けた取り組みとして、市議会公式Facebookにて、議会活動に関する様々な情報を掲載しています。多くの「いいね！」をお待ちしております。

Facebookページ名：「舞鶴市議会」

URL : <https://www.facebook.com/maizurushigikai.kyoto>



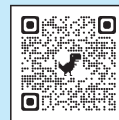
本会議の映像を、スマートフォン、タブレット端末やPCなどでご覧いただくために、動画共有サービスYouTubeでインターネット配信を行っています。詳しくは、舞鶴市議会ホームページで。

本会議の映像配信



舞鶴市議会

検索



令和3年6月2日および6月29日の本会議での議案採決の結果は次のとおりです。この採決は、「押しボタン式投票」で行ったものです。この結果は、舞鶴市議会のホームページでも公表しております。



全会一致で承認・可決した条例議案

- 専決処分の承認を求めることについて(市税条例の一部を改正する条例制定)
- 公募型補助金等交付対象者選定委員会条例制定について
- 消防表彰条例の一部を改正する条例制定について
- 固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について
- 市税条例等の一部を改正する条例制定について
- 公営住宅法及び住宅地区改良法による市営住宅等管理条例の一部を改正する条例制定について
- 市道の構造の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 手数料条例の一部を改正する条例制定について

全会一致で可決した議員提出議案

- 舞鶴市議会委員会条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市議会会議規則の一部を改正する規則制定について
- 議会活性化特別委員会の委員定数の変更について

【議決結果】可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、可認…認定及び可決、採…採択、不…不採択

【賛否】○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

田畑篤子	野瀬貴則	眞下隆史	水嶋一明	伊藤清美	尾関善之	川口孝文	肝付隆治	高橋秀策	谷川眞司	山本治兵衛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	小西洋一	鴨田秋津	田村優樹	西村正之	仲井玲子	議決をした日
新政	新政	新政	新政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	創政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	市民	市民	市民	無党派	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	除	除	除	除	○	○	○	○	6月2日
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	6月29日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	6月29日

無党派…党派に所属しない議員 ☆舞鶴市議会の議員定数は26人です。

表彰

全国市議会議長会第97回定期総会におきまして、舞鶴市議会から4名の議員が表彰されました。

○全国市議会議長会議員在職30年以上特別表彰(平成2年12月5日から30年以上在職)

高橋 秀策 議員

○全国市議会議長会議員在職10年以上表彰(平成22年12月5日から10年以上在職)

鯛 慶一 議員 谷川 眞司 議員 水嶋 一明 議員

教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任期満了に伴い、令和3年6月29日の本会議で次の委員を任命することに同意しました。

再任：内 藤 行 雄 氏 新任：西 谷 和 子 氏

議案の採決結果

(令和3年6月定例会)

会期:6月2日~6月29日

全会一致で承認・可決した予算議案

- 専決処分の承認を求めることについて(令和2年度一般会計補正予算(第13号))
- 令和3年度一般会計補正予算(第4号)
- 令和3年度一般会計補正予算(第5号)

全会一致で可決したその他の議案

- 財産の取得について(救助工作車)
- あらたに生じた土地の確認について(成生地区)
- 字の区域の変更について(成生地区)
- 市道路線の認定、変更及び廃止について

全会一致で同意・可決した人事議案

- 教育委員会委員の任命について
- 人権擁護委員候補者の推薦について



賛否が分かれた議案等

議案名	議員名等(会派内は五十音順)						議決結果	今西	上野	鯛
	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権	新		野	慶	
							政	政	一	
議市長提出案	公募対象公園施設設置等予定者選定委員会条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	都市公園条例の一部を改正する条例制定について	26	25	21	4	0	可	○	○	○
	公有水面埋立てに関する意見について(下安久地区及び和田地区)	26	25	21	4	0	可	○	○	○
議員提出案	舞鶴市議会日本共産党議員団に対する問責決議	22	21	21	0	0	可	○	○	○
	JR小浜線及びJR舞鶴線の維持・活性化に係る意見書	26	25	4	21	0	否	×	×	×
	山陰新幹線整備及びJR小浜線、JR舞鶴線の地方在来線維持・活性化に係る意見書	26	25	21	4	0	可	○	○	○

【会派】新政…新政クラブ議員団、創政…創政クラブ議員団、公明…公明党議員団、共産…日本共産党議員団、市民…市民クラブ舞鶴議員団、

令和2年度の政務活動費の支出内容(概要)をお知らせします

政務活動費は、議員の調査研究等に資するための必要な経費の一部として、議員1人当たり年額26万円が議会会派等に対し交付されます。なお、差引不用額は舞鶴市に返還しました。

舞鶴市議会ホームページに政務活動費支出に係る領収書および視察等報告書も掲載しておりますので、ご覧ください。



【各会派等政務活動費 収支報告一覧表(令和2年4月1日~令和3年3月31日分)】

(単位:円)

会派名	収入			収入合計(1)	支出							支出合計(2)	差引不用額(1)-(2)	
	政務活動費	返還分※3	自己負担分		調査研究費	研修・会議費	広報・広聴費	要請活動費	資料作成・購入費	人件費	事務所費			事務費
新政クラブ議員団※1	1,891,678	400,000	0	1,491,678	0	0	1,013,600	0	52,635	0	211,750	144,109	1,422,094	69,584
主な支出の内容: 広報・広聴費(機関紙発行)、資料作成・購入費(新聞購読料、電子地図)、事務所費(サイドキャビネット)、事務費(通話料、コピー代、トナー等)														
創政クラブ議員団	1,820,000	1,000,000	0	820,000	0	0	0	0	53,625	0	0	191,958	245,583	574,417
主な支出の内容: 資料作成・購入費(新聞購読料、電子地図)、事務費(通話料、消耗品費、コピー代等)														
公明党議員団	1,040,000	600,000	0	440,000	0	0	0	0	4,785	0	0	66,024	70,809	369,191
主な支出の内容: 資料作成・購入費(書籍)、事務費(通話料、NHK受信料、消耗品費等)														
日本共産党議員団	1,040,000	0	0	1,040,000	0	0	839,201	0	27,837	0	0	156,792	1,023,830	16,170
主な支出の内容: 広報・広聴費(機関紙発行)、資料作成・購入費(新聞購読料)、事務所費(通話料、消耗品費、コピー代等)														
会派に所属しない議員(鴨田秋津議員)	260,000	130,000	0	130,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	130,000
主な支出の内容:														
会派に所属しない議員(田村優樹議員)	260,000	60,000	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0	7,838	7,838	192,162
主な支出の内容: 事務費(NHK受信料、コピー代)														
会派に所属しない議員(仲井玲子議員)※2	188,322	60,000	0	128,322	0	0	0	0	59,950	0	0	160	60,110	68,212
主な支出の内容: 資料作成・購入費(雑誌購読料)、事務費(コピー代)														
会派に所属しない議員(西村正之議員)	260,000	60,000	0	200,000	0	0	0	0	0	0	0	2,910	2,910	197,090
主な支出の内容: 事務費(コピー代)														

※1 令和2年7月2日付で会派の人数が8名から7名になったことにより、舞鶴市議会における会派に対する政務活動費の交付に関する条例第4条、第5条の規定により当初交付額2,080,000円から188,322円を減額。

※2 令和2年7月2日から会派に所属しない議員となったことに伴い、舞鶴市議会における会派に対する政務活動費の交付に関する条例第4条、第5条の規定により188,322円を交付。

※3 新型コロナウイルス感染症対策の財源とするため、令和2年12月に舞鶴市に返還。

令和2年度 議長交際費の支出内容は舞鶴市議会ホームページに掲載しております。



令和3年6月14日、15日、16日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

令和3年 舞鶴市議会6月定例会一般質問

令和3年6月14日、15日、16日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一問一答	小杉 悦子	1 新型コロナウイルス感染症対策について 2 国民健康保険について
2	一問一答	川口 孝文	1 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種状況等について 2 小中学校の衛生管理マニュアルについて 3 ごみ排出ルールの変更について 4 市の管理河川について 5 朝来中園場整備について
3	一問一答	上羽 和幸	1 長引く新型コロナウイルス感染症に関わる対策について 2 子育て支援について
4	一問一答	田畑 篤子	1 新型コロナウイルスワクチン接種について 2 医療的ケア児支援法(案)について 3 障害児支援について
5	一問一答	鴨田 秋津	1 舞鶴市立図書館の現状と将来について
6	一括	仲井 玲子	1 舞鶴赤れんがパークにおけるPark-PFI導入について 2 ボランティアポイント制度について
7	一問一答	小西 洋一	1 高浜発電所の再稼働について 2 JR小浜線の減便について 3 第2期京都府北部地域連携都市圏ビジョンについて
8	一括	尾関 善之	1 市立図書館の再編について 2 コミュニティFM放送を活用した「地域の魅力発信等向上事業」について 3 高野川、伊佐津川の整備状況について
9	一括	杉島 久敏	1 コロナワクチン接種について 2 改正災害対策基本法について 3 フレイル予防の取組について
10	一括	鯛 慶一	1 舞鶴市内の工業用地について 2 消防機能について
11	一括	田村 優樹	1 ヤングケアラーについて
12	一問一答	石束 悦子	1 高齢者が安心して利用できるバス対策について 2 舞鶴市の基幹産業としての農林漁業振興について
13	一問一答	伊藤 清美	1 戦略的広報について 2 公共施設について
14	一括	松田 弘幸	1 農業・漁業の支援について 2 ウイルス対策について
15	一問一答	野瀬 貴則	1 窓口業務における市民サービスの向上について 2 行政のデジタル化推進について
16	一括	西村 正之	1 ひきこもりについて
17	一問一答	伊田 悦子	1 旧文庫山学園の機能を生かした「まなびあむ」の運営について 2 指定管理者制度について 3 ジェンダー平等の推進について 4 子育て支援の充実について
18	2分割	高橋 秀策	1 「市民の健康増進と多様な交流・賑わいの拠点」の整備について 2 赤れんが周辺等まちづくり事業について 3 教育タブレットについて
19	一括	小谷 繁雄	1 奨学金返還の支援について 2 地域共生社会の実現に向けた取組について
20	一括	水嶋 一明	1 マイナンバーカードの活用等について 2 安心安全なまちづくりについて
21	一括	谷川 真司	1 レンタサイクルについて 2 高齢者外出支援事業について
22	一問一答	眞下 隆史	1 コロナ禍における海のレジャー対応について 2 コロナ支援内容について 3 地域学の推進による地域振興について
23	一括	上野 修身	1 有害鳥獣について 2 地域防災力向上について

※一 括…質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式

※2 分 割…質問項目を分野ごとに2回に分けて質問し、その都度答弁を求める質問の方式

※一問一答…質問項目を一問ごとに質問し、その都度答弁を求める質問の方式

舞鶴市議会

検索



※質問事項のうち、各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

※本会議については、YouTubeで動画配信を行っておりますので、ホームページをご覧ください。

令和3年6月14日、15日、16日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

Q 一般質問
新型コロナウイルス対策
社会的検査の拡充を
定期的な検査は
考えていない

A 考えていない



日本共産党議員団
小杉悦子

質問 無症状者の発見と保護が感染拡大を防ぐと考える。密な接触を防げない通所型・訪問型の各種福祉事業、保育所、放課後児童クラブや学校などのエッセンシャルワーカーへのPCR検査の充実を関係機関に要望し、市でも実施することを求めるがいかがか。

答弁 保育施設等の従事者が陽性者となった場合、市においてPCR検査の実施などの確な対応を行いたい。定期的な検査の実施は考えていない。

方を優先に接種するところがあるが、64歳以下のワクチン接種と、エッセンシャルワーカーの優先接種の考えはどうか。

答弁 基礎疾患を有する方と60歳から64歳までの対象者は8月上旬から。重症化リスクが考えられる50歳から59歳までは9月上旬から。続いて49歳以下の方の接種予定。教職員、保育士等は密になりやすい職種の特徴を考慮し、60歳以上の方の接種が完了する見込みの段階で実施予定である。

Q 64歳以下のワクチン接種は
A 8月上旬から実施を予定

質問 高齢者の接種後、基礎疾患を有する



エッセンシャルワーカーの検査充実・ワクチン優先接種を

Q 一般質問
ごみ排出ルール変更
さらなる周知が必要
6月中の新聞折り込み等
周知を図る

A 周知を図る



創政クラブ議員団
川口孝文

質問 7月からごみ処理手数料、ごみの出し方、高齢者等ごみ出し支援など、ごみ排出ルールが変わる。各種啓発チラシの配布や説明会の実施など、多様な手段で周知に取り組みできたことは十分理解している。しかし、「直接搬入時のごみ袋は何を使えばいいのか」「今使用している透明袋は7月以降も使えるのか」などの質問が寄せられており、一部の市民の方々にはルール変更が十二分に

浸透していない。円滑な移行と自治会当番の方々の負担軽減のために、再度周知を図ることが必要である。市の具体的な取り組み予定を問う。

答弁 これまでの取り組みに加え、6月中に今回の見直しのポイントを記載した、簡易チラシの新聞折り込みを実施するなど、さらなる周知に努める。個別説明会についても7月以降も順次実施する。併せて、集積所の排出状況に応じてパトロールなどを実施する。今後引き継ぎ、あらゆる機会を通じて周知を図っていく。

Q 一般質問
長引くコロナ禍
困窮者への支援を
相談者に寄り添った
支援をしたい

A 支援をしたい



公明党議員団
上羽和幸

質問 長引く新型コロナウイルス感染症の影響で、市民の生活困窮は深刻になってきている。今後の支援を聞く。また、生活困窮から女性の生活用品に対する経済負担がある。全国で多くの自治体が無償配布を行っている。本市でも無償配布をお願いしたいがどうか。

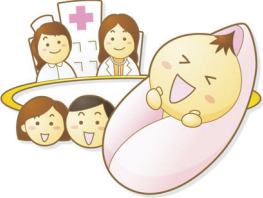
答弁 国は、貸付金の延長、住宅確保給付金の再支給や困窮世帯の支援金も予定しており、相談者に支援を図りたい。生活用品は国の補助金も活用し検討を進める。

Q 多胎児世帯への支援を
A 今後も支援に努めたい

質問 多胎児の子育ては想像を越える。母体は妊娠中からリスクがあり、早産で低出生体重児の可能性も高い。

答弁 また、多胎児を育てる大変さが理解されにくく、負担の重さから虐待のリスクも高まるとされている。支援を充実されたいがどうか。

答弁 本市は多胎妊婦の健診を6回、超音波検査を3回増やし、産後のケア事業は1人分の負担金にし、子育てサークルも開催している。今後も支援に努めたい。



子育て支援

ルール変更。再確認をする。今後引き継ぎ、あらゆる機会を通じて周知を図っていく。

一般質問

令和3年6月14日、15日、16日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



【舞鶴方式】を支える看護師達

Q 打ち手に看護師起用と単価の増額を
A 看護師の追加業務に単価増額を検討する

質問 ワクチン接種の看護師には、現在ワクチンの充填・問診の業務に就いていただき、感染予防策・環境調整、安全対策等、日々意見を出し、さらに市民に安心して接種していただけるよう実施いただいている。今後は打ち手となつていただき進行を速めてはどうか。その場合の時間単価の待遇に配慮はあるか。

答弁 充填・問診に加えて、接種という新たな業務ということで、増額を検討してまいりたい。



新政クラブ議員団 田畑 篤子

Q 国の手当が該当しないが
A 市独自の手当を

質問 厚生労働省がワクチン接種に従事した潜在看護師に就業準備金として手当金を決定した。しかし、本市雇用の看護師は条件に該当しない。ワクチン接種を支える看護師へ本市としての何らかの対応はできないものか。

答弁 本市のワクチン接種の看護師は、国の手当の対象とはならない。しかし、本市では接種の開始段階から使命感を持ち業務を担っていただいております。これらの気持ちに因えるため、市独自の手当の支給を検討する。

Q 少ない図書購入費を今後どう考える
A 補助制度の活用など財源確保に努める

質問 本市では1400万円台であった図書購入費は、平成28年以降、約700万円まで推移している。図書館協議会では「本を買う予算が少なすぎる」などと発言されている。これらの意見を踏まえ、市の考えを問う。

答弁 今後は市民生活や仕事課題解決支援を進めるため、府北部連携による資料収集の分担を進めるとともに、有利な補助制度の活用など財源確保に努める。

Q 新たな本館を建てる考えは
A 本館を持つことが望ましい

質問 図書館協議会の意見書では、東西図書館が同じことをしており、本館を1つ持つ

ことが望ましいと結論付けている。近年は福知山、宮津の図書館が整備され、うらやましいとの声も聞く。審議会の意見や老朽化した現図書館の状況を踏まえ、新たに本館を1つ建築する考えを問う。

答弁 同じような図書館を2つ持つのではなく、市民課題解決支援を強化するため、本館を1つ持つことが望ましいと考える。令和4年度を目途に図書館基本計画を策定し、方針を明らかにする。



築30年以上経過し、老朽化が進んでいる東西図書館



市民クラブ舞鶴議員団 鴨田 秋津

Q 赤れんがパーク民間活力導入の対応は
A 多様な交流が可能となる施設機能を確保

質問 赤れんがパークの民間活力導入について、赤れんがパークは、市の観光拠点であり、また市民や市内事業者の活動の場、交流の場として活用されてきたが、PARKET等

の手法を用いた運用が始まったも、市民や市内事業者が現在のような形で活用できるスペースが確保されるのか市の考えを問う。

答弁 PARKETの具体的な事業スキームやキャッシュフロー、また、市民や市内事業者はこの制度を理解してもらうための対応について、市の考えを問う。

質問 本エリアに必要な観

光案内機能の確保や遊覧船との連携、コワーキングスペース等の機能強化など市民や市内外の企業による多様な交流が可能な施設機能の確保を図る。

PARKET制度は、民間事業者が施設等の設置や改修に自己資金を投入、施設や敷地の使用料を市へ支払う。外構や駐車場等は指定管理料を市が当該管理運営者に支出する。理解を深めていただくための情報発信に努める。



会派に所属しない議員 仲井 玲子



赤れんがパーク・市民によるにぎわいづくり

令和3年6月14日、15日、16日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

一般質問

Q コロナ禍で実効ある住民避難計画策定を避難計画の見直しを進める



日本共産党議員団
小西洋 一

質問 舞鶴市の原発避難先である京都市、宇治市、向日市もコロナ禍で避難所が「足りない」と回答し「今後、京都市に調整していただく」としている。原発の避難は、コロナ禍での避難という二重の課題となっている。このような実効性のない避難計画の現状では、とても「再稼働容認」とはならないのでは。

答弁 昨年度、感染症対策を考慮した原子力防災訓練を実施した。より実効性が高まるよ



乗って残そう地方線

答弁 京都府において減便対象路線の情報収集が行われており、府や沿線市町と連携して利用促進に取り組み、便数の維持・確保をJR西日本に要望する。

う、時機を失することなく、住民避難計画の見直しを進める。

Q 情報収集を急ぎ具体策を
A 便数の維持確保に努める

質問 5月19日の福井新聞でJR小浜線の「便数半減」が明らかになった。近畿エリアでは、約70本の減便が検討されている。情報収集を急ぎ、近隣市町と連携して要望活動を行うなど、地方線維持のため具体策を検討すべきではないか。

一般質問

Q 市立図書館の再編の方針を問う
A 図書館基本計画を策定し方針を示す



創政クラブ議員団
尾関 善之

質問 制度や技術水準が大きく変化し、情報も高度化する中、新時代に即した建物、蔵書ともに新たに中央館を新設することは、課題解決型図書館へ転換し、幅広い世代の市民に必要な施策と考える。今後の進め方について問う。

答弁 レファレンス機能を強化した、新しい図書館の建設や見直しは図書館協議会で十分議論し、令和4年度を目途に図書館基本計画を策定する。



西図書館

津波の2mを超える地域に配備する。その他希望する市民については、FMまいづるを介して、購入できるようにし、情報伝達の多様化がより一層進むと考える。

Q 自動起動ラジオの活用を問う
A 情報伝達の多様化を進める

質問 自動起動ラジオは、防災行政無線と連動する強制割り込み装置を整備し、緊急時ラジオの電源が切りでも防災行政無線と同じ内容を聴くことができ、この活用について問う。

答弁 災害時に迅速かつ確実な情報伝達が必要となる、PAZとPAZに準ずる地域、

一般質問

Q 「避難指示」一本化の迅速確実な周知は避難情報を掲載し、全ての自治会に配布



公明党議員団
杉島 久敏

質問 地震や集中豪雨など頻発する自然災害に対応すべく、改正災害対策基本法が4月28日に成立し、5月20日より施行された。改正法では市町村が発令する避難情報について「避難勧告」を廃止し「避難指示」に一本化することにより、避難を始めるタイミングが一層明確になる。逃げ遅れが発生しないよう一刻も早く市民に対して確実に周知する必要性があるため広報を強化し、メディアの協力も得て、分かりやすく伝える方法の選択が望まれる。本市ではどのような周知方法を考えているのかを問う。

答弁 本市においては「東・西市街地の洪水ハザードマップ」に今回改正された避難情報と避難情報が発令された場合に、とるべき避難行動をあらかじめ決めておく「マイタイムライン」のひな形を掲載し、全ての自治会に配布。それにより、適切な避難行動につながるものと考えている。また、市ホームページや広報まいづる6月号で周知を図っている。



「避難勧告廃止」のポスター

令和3年6月14日、15日、16日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

Q 若手の団員も消防車の運転ができるのか

A 補助制度をスタート環境づくりに努める



新政クラブ議員団 鯛 慶一

質問 平成19年6月

および平成29年3月に道路交通法が改正され、今まで普通免許で運転できた車両の一部が運転できなくなりました。若手団員が、今後、誰ひとり消防車両を運転できなくなる可能性があります。現在33歳より若い団員の普通免許では通称4トン車は運転できない。消防団員になっていただいで、自費で中型免許を取らないと消防車に乗れないのはあまりにも酷であり、準中型以上の免許取得が必要と思われる方で、免許取得に係る補助制度がないかを問う。

答弁 消防団員の準

中型自動車運転免許の取得に関して、現在免許制度の改正に伴う影響はまだ少ないが、将来的に消防車両を運転できる消防団員の確保は課題になると考える。免許取得の補助制度としては、本年5月より消防団員に対して準中型免許取得に係る補助金交付要綱を定め、経費の2分の1を上限として補助する制度をスタートした。今後も引き続き、消防団員が活動しやすい環境づくりに努める。



誰もが運転できる日を待っています

Q ヤングケアラーの支援体制を問う

A 多機関で横断的な対応



市民クラブ舞鶴議員団 田村 優樹

質問 このたび、厚生労働省と文部科学省

では、各副大臣を共同議長として連携し、ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育のプロジェクトチームが結成され、全国規模の調査研究事業が初めて実施された。その調査報告書では、ヤングケアラーを発生・把握した場合に、高齢、障害、疾病、失業等、生活困窮やひとり親世帯といった家庭の事情に応じ、多機関連携による支援体制の在り方が本格的に検討されている。本市でも、積極的に関わり、先進的な支援体制を構築すべきではないか、市の見解を問う。

答弁 市の福祉・健康部局の相談支援担当課をはじめ、中丹東保健所、社会福祉協議会、地域包括支援センター、障害者支援センターなどにより、地域共存社会に向けた包括的な支援体制の整備に係る「ネットワーク会議」を設置した。この会議では、複合・複雑化する家庭支援ニーズに横断的に対応し、早期発見・把握につなげる。



多機関連携が重要

Q 高齢者が安心できるバス対策は

A 安全対策が必要な場合は検討する



日本共産党議員団 石東 悦子

質問 高齢者から

「バス降車時、道路の縁石による転倒が心配だ、避けるため遠回りのバスに乗る」と聞く。バス停の調査・対策を。また雨風を防ぐ屋根付きバス停の設置を問う。

答弁 交通事業者が安全確認、実態把握しており、市は対策が必要な場合は検討する。屋根付きバス停は設置費、維持費が発生することなどから、直ちに設置できないのが実状。

Q 落ち込んだ米需給対策は

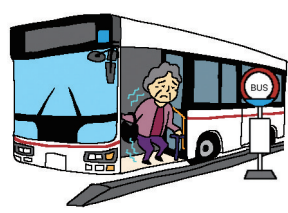
A 米の需給動向を注視する

質問 ①コロナ禍で

の米価の落ち込みに対する支援で、77万トンのミニマム・アクセスの米の輸入をやめるよう

に、国に要望すべきでは。②生活困窮者対策として、市独自で米の無償提供を実施するなど、米の消費を進めては。③定置網導入の補助を網の更新にも使える制度へと、国へ要望してはどうか。

答弁 ①国に意見する考えはない。②米の需給喚起については農協も取り組んでおり、市として米の需給動向を注視する。③定置網の流出などは、漁業施設共済で補償され、国に要望する考えはない。



転ばぬ先の知恵

令和3年6月14日、15日、16日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問



住みたいと思うまちを描こう

質問 「本市や地方都市が抱える地域課題」特に、究極的ともいえる人口減少と高齢化という大きな課題があるものと認識している。社会の変化に対処しながら地域を継続的に発展させるため、本市がこの事業に取り組むこととなった意義について問う。

答弁 自分たちのまちに愛着と誇りを持つことが何より重要で、舞鶴の良さを再認識するきっかけづくりと市民と市の若手職員が共

Q シティフロンティアの意義は
A 市民と行政が手を携えて進むことに意義



創政クラブ議員団
伊藤 清美

通の思いで活動し、手を携えて進めることに大きな意義がある。

Q 公民館利用時の減免申請は
A 要綱を改正し省略可とした

質問 自治会の公共施設減免登録申請には多くの書類が必要となつている現状がある。多くの団体として認めたいながら、書類提出の必要性と根拠を問う。

答弁 「舞鶴市公の施設使用料減免団体の登録に関する要綱」において定め、団体規約等の添付をお願いしているが、自治会については、市で確認することができるところから本年3月に同要綱を改正し、書類の添付を省略できるように改めた。



舞鶴ブランドの京鮭と岩がき
経営支援をしてきた。今後も漁業者の意見を伺い、その時々状況に応じた需要喚起策などの支援を検討していく考えである。

質問 平成31年1月、新たに「農業収入保険」ができた。自然災害による農作物の収穫量減少や豊作による価格下落、取引先の倒産、盗難や運転中の事故といった経営努力では避けられない収入減少を補償することができ、農業を守る保険制度の周知や加入のための保険料支援を問う。

答弁 周知については、農業委員会だよりをはじめ、さまざまな機会を通じ、積極的に取り組んでいく。なお、加入促進のための保険

Q 「農業収入保険」の周知と支援を問う
A 積極的な支援は慎重に対応する



公明党議員団
松田 弘幸

料支援は公平性を確保する観点から、慎重に対応する考えである。

Q 漁業支援を問う
A 状況に応じた支援を検討

質問 漁業はコロナ禍で魚価が低迷しており、特に高級魚で顕著に表れている。さまざまな産業に影響が出ているが、命に関わる産業の一つといえる漁業への支援を問う。

答弁 まいづる冬グルメ満喫クーポン事業など、さまざまな漁業

質問 4月から西支所の午後10時以降の夜間窓口が閉鎖となり、本庁直窓のみ対応となった。市民からはサービスの低下を危惧する声が出ており、閉鎖となった経緯について問う。また、今後夜間に死亡等の届出を行うには、市役所本庁まで行く必要があり、西舞鶴地域の市民は距離が遠く危険である。そもそも夜間に届出を行うのは、斎場の予約をしないと葬儀の日程が決まらないことが理由だと考える。市民サービス向上のためにも、斎場の仮予約を電話等で行えないか問う。

答弁 令和2年度の西支所における午後10時以降の窓口受付件数は年間41件であり、そ

Q 夜間窓口減少なら斎場の仮予約導入を
A 7月からの実施に向け準備する



新政クラブ議員団
野瀬 貴則



斎場の仮予約を電話(午後10時から翌朝8時30分まで)で受け付ける市役所本庁

の8割以上が死亡届であった。閉鎖前との委託費用の差額は200万円であり、効果的・効率的な事務の見直しを行い、宿直業務を終了することとした。斎場の予約は現在窓口でのみ行っているが、市民の安全と負担軽減を図るため、今後については電話での仮予約が行えるよう、7月からの実施に向け準備する。

一般質問

令和3年6月14日、15日、16日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。



添い、支援メニューを構築しなければならないと考えらるが、本市におけるひきこもりの現状と支援策を問う。



高齢化するひきこもり

Q ひきこもりの現状と支援策を問う

A 継続的包括的な支援を実施している



市民クラブ舞鶴議員団
西村正之

質問 ひきこもりが顕在化してからおよそ25年、かつては「青少年の一時的な現象」とされたひきこもりの内実は激変し、従来のイメージでは捉えきれなくなっている。若者が40代・50代、その親が70代・80代となり社会的に孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻なケース、社会につながらないひきこもりとして増える傾向にある。実態調査を行い、課題が何であるのか、当事者たちに寄り添い、支援メニューを構築しなければならないと考えらるが、本市におけるひきこもりの現状と支援策を問う。

答弁 ひきこもりになられた原因や期間、置かれている家族環境などがさまざまであることから、家族や本人の収入等も含めた状況について十分な聞き取りを行い、医療機関への受診や障害者手帳の手続、月1回実施している臨床心理士によるひきこもり巡回相談への誘導など、関係機関と連携を図り、継続的包括的な支援を実施している。

Q ジェンダー平等に向けた本市政策の強化をパートナーシップ制度創設に向け研究

A パートナーシップ制度創設に向け研究



日本共産党議員団
伊田悦子

質問 男女の平等度を示すジェンダーギャップ指数は、日本は120位。ジェンダー平等に関しては後進国。そこで、小中学校の性的少数者の実態把握や配慮の実態はいかがかが。

答弁 制度を導入している自治体の実績や制度内容、課題などの調査を始めた。今後も取り組む。

Q 生理の貧困に対する支援を

A 国の補助金等の活用等検討

質問 多様な性を認める具体策の一つとして、パートナーシップ

質問 経済的理由で生理用品を入手することが困難な状況、いわゆる生理の貧困が問題視されている。国の交付金等も活用し、無料配布や学校トイレの個室等に常備する必要があるかが。

答弁 昨年度開設した相談窓口で丁寧な支援を行い、他自治体の取組状況を把握し、国の補助金等の活用も検討。

Q 赤れんが周辺エリアの民間活力導入は

A エリア一帯活用に向け積極的に取り組む



創政クラブ議員団
高橋秀策

質問 舞鶴を象徴する赤れんが倉庫群や、海上自衛隊の基地があるまちとしてのポテンシャルを生かし、日本海側を代表する一大交流拠点にする上で、このエリアの民間活力導入に向けた取り組みはどのように実施する予定であるのか。

答弁 最長20年の範囲内で設置管理許可が受けられるPark+PEIを導入し、民間活力の導入促進を図る公募案件の整理を進め、活用に向け積極的に取り組む。

Q 教育タブレットの運用は

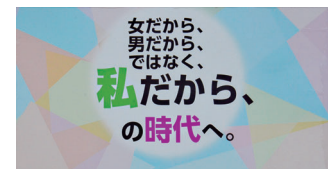
A 順調に始まっている

質問 Society5.0時代を生きる子供たちには、先端技術を身に着けることは大切なことである。①GIGAスクール構想1人1台のタブレットの運用は。

答弁 ①全ての教員の資質能力を育成するため、質の高い授業を目標としている。②月数回程度派遣し、より効果的なICT活用方法を考えたり、生徒への操作補助をしている。専門家を派遣することにより、教員の指導力向上を図っていく。



赤れんがパーク
4号棟・赤れんが工房



6月の男女共同参画週間

令和3年6月14日、15日、16日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問

この事業の移行準備について問う。また、国は、自治体の職員を対象に、ブロック別研修など、重層的支援体制整備事業の移行に必要な知識や手法の研修を実施している。本市の人材育成について問う。



適切な相談支援につなげる各相談窓口

質問 現在、介護・障害・子育てなど、制度・分野ごとに相談窓口を設置している。今後、あらゆる部署との連携を図り、市民が安心して暮らすため、相談者に寄り添った断らない相談支援が必要。誰も置き去りにしない社会づくりへとつなげるための基盤となる重層的支援体制整備事業を、国も推進している。

答弁 複合的な課題の相談支援は、分野横断的に総合的な支援を行うため、ネットワーク会議により、顔の見える関係を構築し、適切な相談支援機関へとつなぐことが可能。国の支援は、円滑な事業移行において、必要に応じて有効に活用。国のブロック別研修会の活用と、庁内関係職員による勉強会を実施し、人材育成に努める。

Q 重層的支援体制整備事業の推進は、ネットワーキング会議による支援体制を構築

A ネットワーク会議による支援体制を構築



公明党議員団
小谷 繁 雄



便利な田舎暮らし

本市でも、保有するメリットを感じるような活用が充実を図り、ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らしの実現に向けて取り組む。

質問 本市では、現在マイナンバーカードの普及に取り組みされている。マイナンバーカードに本市が必要とする独自サービスとしての公共施設予約カード、図書館カード、また申請書の自動作成などの機能が付加できれば市民にとって行政手続がカード1枚でできるようになり、便利なものと考えられる。そこで、本市のデジタル化の将来像にマイナンバーカードをどのよう位置付けし、どのような機能を付加されようかと考えられているのかを問う。

答弁 国・地方デジタル化指針において、デジタル技術を活用し、マイナンバーカード1枚でさまざまな行政サービスを受けることができるなど、今後カードの健康保険証利用の本格運用や運転免許証との一本化などが予定されている。本市でも、保有するメリットを感じるような活用が充実を図り、ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らしの実現に向けて取り組む。

Q マイナンバーカードの活用は、メリットを感じられるよう充実を図る

A メリットを感じられるよう充実を図る



新政クラブ議員団
水嶋 一 明



1000円タクシー券

質問 敦賀シェアサイクルは、目的地近くの9カ所あるサイクルポートに返却可能で、気軽に便利に街を回遊できることが特徴となっている。観光客だけでなく、市民の日常生活の中でも利用ができるシェアサイクルを導入してはどうか。

答弁 シェアサイクルは、乗りたい時に借りて、行きたい場所まで返却できるサービスである。一部の都市では交通戦略や自転車活用推進計画に位置付けられ、公共的な交通としての活用も検討されている。本市におけるニーズや他市における導入の状況を見据え、活用について研究する。

Q シェアサイクルの導入を求める今後の活用を研究する

A シェアサイクルの導入を求める今後の活用を研究する



創政クラブ議員団
谷川 眞 司

質問 高齢者外出支援の500円タクシー券があれば、500円から1000円未満の地域に居住する住民にとって、通院や外出を応援することとなるため、500円券を発行してはどうか。

答弁 支援事業は、高齢者の外出支援、健康増進を図り、地域経済の振興にもつながるようさまざまな工夫をし、取り組みを進める。

令和3年6月14日、15日、16日に本会議を開き、23人が一般質問を行いました。
質問・答弁の要旨は次のとおりです。

4つの常任委員会では、先進地の事例を市政に生かすため、
オンライン視察を実施しました。視察の概要は次のとおりです。

一般質問 常任委員会の視察報告

Q 海の観光資源事業
民宿等を救済願う
感染状況を注視し
新たな交流を創出する



新政クラブ議員団
員 下 隆 史

質問 新型コロナ感

染拡大防止の観点から、
2年連続で海水浴場の
閉鎖を決定された。先
の見通しがつかない現
状に民宿事業等のモチ
ベーションは低下し、
閉業の選択に向け突き
進んでいく。海の京都
を代表する民宿等に今
後の希望を感じ得る支
援ができないか。

答弁 感染収束状況

を注視しながら企業研
修や教育旅行など、民
宿等への宿泊を伴う新
たな交流を創出し観光
事業者の支援を考える。

Q 海レジャー客との
関係改善

A マナー厳守を
求める

質問 海に面した地
域では「海に面しル
ルが不明確」であり、



民宿等に元気を求めて

コロナ禍レジャー客と

のトラブル増加に対し
恐怖と不安を感じてい
る。海の環境は地元住
民と自治体の努力と活
躍があり維持される。
住民意見を尊重しなが
らレジャー客にも気持
ちよく遊んでいただけ
の働きかけとルールの
明確化ができないか。

答弁 マナーを守っ

て地元の皆さんと協調
していたことが肝
要と考える。新たな
ルール作りについて、
具体的な必要性や実効
性を今後検討する。

Q 有害鳥獣被害と
個体数の傾向は
シカによる被害・
個体数はともに増加



新政クラブ議員団
員 上 野 修 身

質問 舞鶴市におい

ては、田・畑など耕地
の周囲を山林が覆って、
サル・イノシシ・シカ
などによる農業被害が
絶えない。環境省・農
林水産省による被害防
止活動の支援に加え、
抜本的な鳥獣捕獲強化
対策として、平成25年
から10年計画でシカ・
イノシシなどを、半減
とする計画であるが、
現実は大変厳しいと考
える。そこで、本市
におけるサル・イノ
シシ・シカによる農
業被害の現状、また、
被害を減少させるに
は個体数の減少が最
も有効と考えるが、
これら鳥獣に加えツ
キノワグマの個体数
の傾向について問う。

は総額2140万円で、
特にシカ869万円、
イノシシ822万円、
サル289万円の報告
があった。
鳥獣の個体数は、捕
獲頭数から推測すると
イノシシ・サルは、ほ
ぼ横ばいで推移、シカ
は生息域の拡大で増加
傾向にある。ツキノワ
グマは京都府の推計に
よると府内全体で増加
傾向にある。

答弁 令和2年に

おける有害鳥獣被害



シカによる農業被害の増大

常任委員会の(オンライン)視察報告

舞鶴市議会の4つの常任委員会は、先
進地の事例を市政に生かすため、オンラ
イン視察を実施しました。
詳しくは、舞鶴市議会ホームページで。



総務消防委員会 (令和3年5月11日(火)・13日(木))

■ 視察先及び視察項目

- ① 愛媛県宇和島市
シティセールス・シティプロモーションについて
- ② 福島県会津若松市
スマートシティの取組について
- ③ 愛媛県松山市
自主防災について



福祉健康委員会 (令和3年5月11日(火)・12日(水))

■ 視察先及び視察項目

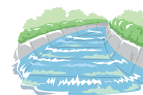
- ① 東京都西東京市
フレイル予防について
- ② 京都府
京都式農福連携プロジェクトについて
- ③ 兵庫県神戸市
フレイル予防について



産業建設委員会 (令和3年5月19日(火))

■ 視察先及び視察項目

- ① 佐賀県佐賀市
市街地の浸水対策について
- ② 大阪府豊中市
地域振興施策について～キッチンカー社会実験の取組について～
- ③ 宮崎県日南市
地域の中小企業支援について



市民文教委員会 (令和3年5月18日(火))

■ 視察先及び視察項目

- ① 岩手県釜石市
コロナ禍における子育て支援について
- ② 長崎県佐世保市
地域子育て支援事業について



決 議

6月定例会の初日で議員発議し、可決した問責決議は次のとおりです。

▽舞鶴市議会日本共産党議員団に対する問責決議

日本国憲法に定める地方自治の本旨に基づき、地方議会は住民の負託に応える責務があり、その責務を果たすために議会活動に取り組むとともに、最善の意思を決定する議事機関として存在しなくてはならない。舞鶴市議会は市制施行以来、今日に至る70余年にわたって住民福祉の向上を目的として伝統と歴史を積み上げてきたところであり、その歴史の中で培われた市民からの信頼によって、合議制による議会の議決は重き尊厳を保持している。

一方、地方議会を取り巻く環境は大きく変化している。戦後から現在へと社会情勢が変化してい

く中、改正された地方自治法は地方自治体に権限を付与、強化されることとなり、地方議会の役割や方向性について、地方自治法で明確に定められ、議会機能の強化が大きく求められることとなった。そのような背景のもと、市民の負託に応え、市民福祉の向上と市民の利益を守るために舞鶴市議会はこれまで議会の機能を高めることを目的に様々な議会改革に取り組んできた。今後も引き続き議会改革の取組を進めていく不断の努力が必要となっており、取組を進めるためには合議による議決は遵守されなければならない。

しかしながら、当該議員団は、令和3年3月8日に開催された議会活性化特別委員会で議決した議員活動の見える化に関する調査に対し、後日になって協力しないと意思表明した。また、令和3年4月5日に開催された各派幹事会において、議

長から改めて協力することをお願いし、当該議員団を除く全ての会派から議決結果に対して協力を求める旨の発言があり、議会として取り組むことについて再度、確認されたにもかかわらず、締切日である令和3年5月1日を経過しても調査報告を行っていない。

このことは、以下の理由により到底、看過することはできず、今回の言動を断じて認めるわけにはいかない。

1 (地方議会の否定)

議論に十分な時間をかけ、公平性を担保する合議制の議会において、議決事項に従わないということは議会制民主主義の否定であり、地方議会の否定である。

2 (舞鶴市議会基本条例の趣旨に反する行為)

地方議会は、議会改革に向けた不断の努力を求められており、今後取組を進めていくため、今回のように議

決に従わなくてもよいという行為を前例とすることはできない。今後の議会改革の議論に大きな支障を来す行為であり、舞鶴市議会基本条例の精神を記した前文及び目的に反する行為である。

3 (議会品位の低下)

議決結果に従わないという行為は、地方自治法や舞鶴市議会基本条例が要請する議員の活動の原則からも大きく逸脱し、著しく議会の品位を低下させる行為であると断じざるをえない。

4 (会派責務の放棄)

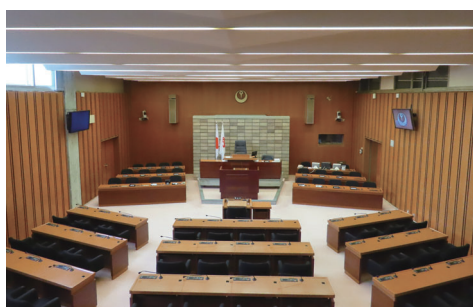
舞鶴市議会は、議会運営において会派制とし、会派の責務を舞鶴市議会会派規程でもって明確に規定しており、議決した事項の所屬している議員への周知と遵守を義務付けているが、明らかに遵守する義務を放棄している。

5 (信用失墜行為)

地方議会の議決は、

市民に対して大きな責任を有しているが、議会自らが決定した議決事項に議員自らが従わないという行為は、市民に対して議会の議決を守らなくてもよいといった、誤ったメッセージを発することとなり、議会の信頼を大きく損なうこととなる。

よって、舞鶴市議会日本共産党議員団に対して猛省を促すとともに、その猛省を今定例会中に本会議において表明すること。また、今後の議会運営に係る態度を改めるよう求める。



討 論

令和3年6月2日の本会議初日において、提案された決議に対して討論をしました。



討論

合議し決定した事項に従うべき



新政クラブ議員団
上野 修身

決議第1号に賛成する。

本年1月の議会活性化特別委員会で、舞鶴市議会の議員定数・議員報酬について議論することが決定し、各党派とも、市民の皆さんの声を聴くことは重要。議員は何をしているのか知ってもらう努力が必要であるとのことであった。その結果、2月5日に委員長として議員活動の見える化を図るための調査が示された。3月8日には、「この調査の実施にはおおむね合意

を得られた」ということで了承されたとし、委員長案を進めていくということを決定した。しかし、5月の議員協議会で議長から「再三提出をお願いしたが、日本共産党議員団の4人の議員が未提出のままである。議会として決定したことに協力しないのなら合意形成の過程も意味がない」とあった。今回、日本共産党議員団4人が合議し、決定した事項について従わないのは、議会軽視どころか、議会制民主主義を踏みにじる行為である。



ルール否定は議会制民主主義の背信行為



創政クラブ議員団
伊藤 清美

決議第1号に賛成する。

舞鶴市議会では議員定数および議員報酬等の審議に当たり、市民から「議員が何をやっているのか分からない」とする疑問に「このために議員活動の調査を行い、見える化を推進する目的で議論を進めてきた。日本共産党議員団は議会活性化特別委員会で簡易採決の結果、合意形成を図っていないながら提案を拒み続け、対案の提出もなく「賛成多数でも個人の判断に委ね

られるべき」などと独自の主張を繰り返し、陳謝するどころか活動調査の提出に応じないとした。このことは議会のルールを真つ向から否定するものであり、議会制民主主義に対する明らかな背信行為である。



決議第1号に賛成



市民クラブ舞鶴議員団
田村 優樹

決議第1号に賛成する。

議会活性化特別委員会で議決した「議員活動の見える化に関する調査」で、認識・見解の不一致ともいえるべき事象と、議会制民主主義の在り方が問われ、日本共産党議員団だけが調査報告を行わなかったことが争点となった。市民クラブ舞鶴議員団では、多様性を尊重し、市民のためになる市議会の構築を望み、舞鶴市議会の運営は合議制の下に成り立ち、全

ての関心事項を満たす提案を作り上げていくこと、前向きなプロセスで、関心事項を丁寧に整理分析して柔軟に考え、誰もが合意できるさまざまな選択がされる。全員が満足、少なくとも納得のいく案ができる。全ての議員の思いが尊重される議会の求めている。日本共産党議員団にも、是非ともこの思いを共有いただきたい。そのように考える。改めて、全議員の理解を得る意味で、問責決議に対する対応、議会運営に対する思いを表明されるべきである。





令和3年6月2日の本会議初日において、提案された決議に対して討論をしました。

討 論

討論

市民の負託を受けた議員の規範を求む

新政クラブ議員団
田畑篤子



決議第1号に賛成する。

同じ舞鶴市議会に籍を置く議員として情けない。今回、議員全員で決めたことを、後から自己の解釈で「あの時、自分は納得してなかったからしない」「賛成多数でも個人の判断に委ねるべき」等の反則と発言の繰り返してであった。私が、問責決議案に「賛成」の理由は、ただ一つ「決まったことを守らなかった」ということ。議員自らが決定した事項を議員自ら



が従わない行為は、市民の負託を受けた議員のなすべきことではない。市民の議員たる姿勢への信頼を大きく損なうものであり市民への裏切り行為である。議員としての姿勢を問いたい。十分な審議時間をかけた合議制の協議事項である。地方自治法や議会基本条例が要請する議員活動の原則からも大きく逸脱し議会の品位も大きく損なった。再三の謝罪と協力への機会を与えられたにも関わらず、従わない、日本共産党議員団に対する問責決議案に賛成する。

討論

議員として良識ある行動の再考を切望する

創政クラブ議員団
川口孝文



決議第1号に賛成する。

本決議案の肝は「自分たちで定めたルールを自分たちもしっかりと守る」という点である。日本共産党議員団の行動は、例えるなら、小学校でクラスの演目を皆で話し合い、合唱に決まった。皆で協力し取り組もう。このような流れの中で「私は合唱に反対していた。だから、合唱には参加しない。練習協力もしない。私の自由です」と言っているのと同じではない



か。この時、先生、保護者、クラスメイトは、「そのとおりだ」「参加しないのは自由だ」と反対する子供たちを褒めたたえるだろうか。他の議員からの、再三再四の協力要請に全く耳を貸さず、弁明においても自己主張のみを繰り返す日本共産党議員団の姿は、まさに、いやいやをする子供たちの姿ではないか。議員として、社会人として、大人として、良識ある行動を再考され、今後の議会での取り組みで、同様な事案を生起させないことを切に求める。

討論

議会制民主主義の基本中の基本を問う

新政クラブ議員団
眞下隆史



決議第1号に賛成する。

日本国は民主主義により運営され、議会の審議も同様に議会制民主主義に基づき運営されている。議決された案件に対し対象者は議決内容を遵守しなければならぬ。議会のみならず社会のルールを皆さんが守る至極当然の行動に反し、日本共産党議員団の4人は、議決後になつてから議決内容に反して参加しないと表明し、現実に議員活動報告書の提出がなされてい



ない。新聞報道された「おおむね合意」は議会内の合意と認めないとの発言を繰り返して、コロナ禍で大変な時期にも関わらず議会内だけの無益な審議に多くの時間を費やした事実を、市民の皆さんに知っていただきたい。当委員会に参加の委員・傍聴議員全てが反対はないと理解し、会議録の判断も採決されている事実がありながら「私たちは反対している」との主張をする言動は議会制民主主義の根底を覆す行為であるため、決議案に賛成する。

令和3年6月2日の本会議初日において、提案された決議に対して討論をしました。
令和3年6月29日最終本会議において、決議に対して日本共産党議員団から発言がありました。



討論

問責決議に至った原因をよく考えるべき



創政クラブ議員団
肝付 隆治

決議第1号に賛成す

議決に従わない日本共産党議員団の行いは、議会制民主主義を真つ向から否定する言動であるばかりではなく、地域社会において、自己主張と利益ばかりを強調し、地域コミュニティの形成を阻害している自分勝手な住民の言動を肯定することにもなる。つまり、地域コミュニティの形成と活性化に取り組むべき議員が、その阻害要因と同じことをしているという



この重大さを強く認識すべきである。議長は厳重注意とし猛省を求めたが、全く反省の意を示さず勝手な理由により問責決議の不当性を述べ撤回を要求した。議場における質疑において一転議決を受け入れる旨の陳述があつたがその理由は曖昧で自己主張を繰り返し、突然の方針転換は、問責決議逃れの対策とも思えるものである。今回の問責決議が提出されるに至った真の原因が何にあるのかをよく考える必要があるものと認め、決議案に賛成する。

合議制を無視した行動に対し猛省を促す



新政クラブ議員団
鯛 慶一

決議第1号に賛成す

今回の日本共産党議員団の行動は議会の合議制を理解していない。議会活性化特別委員会にて決定した事案を後日覆した行為は議会制民主主義の根底を覆す行為である。舞鶴市議会は簡単に多数決で決定するのではなく、最後まで合意形成を図る努力をし、納得の上で合意する良き伝統がある。決定した案件は、全議員が取り組み、市民福祉の向上のために頑張ってきた



舞鶴市議会の歴史を完全に崩壊させた。また、私たち舞鶴市議会議員は、自らの手で舞鶴市議会基本条例を制定し、当然その制定時には日本共産党議員団も入っており、その内容も理解し議決に至ったものと認識していた。制定後は、基本条例を順守し、議員規範に従った活動を行うことは当然のことであるにもかかわらず、議決事項を簡単に翻した。議決に従わなくてもよいという前例は当然許される行為ではないことから、決議案に賛成する。

発言

問責決議受け止め調査表を提出

日本共産党議員団

今定例会初日に、党議員団に対する問責決議が提案されました。

この時点で、我が党議員団の「おおむね合意」に対する認識に誤りがあり、認識を改め、謝罪と活動調査表の提出を表明しました。それに対し「議会の否定」「品位を汚す」などの文言が入った決議を採択することとは、意見が違つても議論を尽くす議会にふさわしくないと考えを表明しました。

その後、党議員団の活動調査



日本共産党議員団 伊田 悦子 議員

4日に提出しました。決議では、今定例会中に反省の意を表明し、今後の議会運営に関わる態度について表明を求められていることから発言いたしました。

議員活動の見える化に関する調査については、会派として真剣に議論を重ねてきました。積により、議会を混乱させたことについてはおわびいたします。

今後、十分な審議が尽くされ議決された案件については誠実に決定に従い、議会の活性化に向け不断の努力をしていく決意です。



意見書、手話通訳・要約筆記者の配置

意見書

6月定例会で議員発議し、可決した意見書は次のとおりです。

▽山陰新幹線整備及びJR小浜線、JR舞鶴線の地方在来線維持・活性化に係る意見書

西日本における日本海沿岸地域においては、福井県若狭地域、京都府北部、山陰地域などそれぞれの地域から京阪神地域、岡山広島地域へと南北ルートによる人流物流を軸に発展してきた。現在、北陸新幹線敦賀開業が迫る中、福井県若狭地域から京都府北部、山陰地域へ

の日本海側を東西に縦断する新たな広域ルートは産業、観光、文化など、歴史にも裏付けされた大変、重要な広域ルートであると考えている。

特に将来的に予想されている南海トラフ地震等の太平洋側における大規模災害への対応においても、日本海国土軸の形成によるリダンダンシー機能を確保

するとともに、対岸諸国を見据えた国土全体の健全な発展にも寄与する大切な基幹ルートであると考えている。あわせて、昨今の中国、北朝鮮情勢を踏まえ、海上自衛隊や海上保安庁をはじめとする「国防・海の安全の拠点」となる海洋域においても、本エリアの重要性を考慮した広域ルートの整備は国益に寄与するものである。

全国の主要都市をつなぐ新幹線ネットワークについては、国土の均衡な発展と都市部からの地方回帰を促進する地方発展の起爆剤となるものであり、さらにそれにつながる地方都市を結ぶ地方在来線ネットワークについても、圏域の発展には非常に大切である。地方においては学校や病院をはじめ、生活に必要な全ての機能を将来にわたって単一都市であわせ持つことが今や困難であり、地方在来線による交通インフラの維持・活性化は生活圏の充実確保に必要な

可欠なものであると考えている。

本年5月にJR西日本においては、新型コロナウイルス感染症拡大による経営環境の悪化を理由に、利用状況に応じたダイヤの見直しを行うとして、JR小浜線の大規模な減便を前提とするダイヤ改正を10月に行うと発表されたところである。福井県若狭地域及び舞鶴市域については、高浜発電所をはじめとする原子力発電や舞鶴発電所など全国有数の電力供給地域であり、今日、逼迫する国内電力需要に対処する上で重要なエネルギー拠点である。

この重要な地域をつなぐJR小浜線及びJR舞鶴線は、国立舞鶴高等学校や高等学校をはじめ多数の教育機関が所在することから、その鉄道交通は住民生活に欠くことのできない鉄道路線となっている。このような観点から、山陰新幹線の整備計画の格上げ及び「京都府北部ルート」の早期実現とともに、地方在来

線であるJR小浜線、JR舞鶴線の維持・活性化のため、以下の対策を講じるよう強く求める。

- 1 日本海国土軸の形成と日本海側と太平洋側地域の連携強化を図る山陰新幹線の整備計画格上げ及び「京都府北部ルート」を早期に実現すること。
- 2 国土の均衡ある発展のため、国家プロジェクトとして新幹線整備に必要な財源を十分に確保するとともに、地元負担の軽減や積極的な支援を行う新たな整備スキームを検討すること。
- 3 JR小浜線及びJR舞鶴線の安定的な維持・活性化を図るため、生活路線となる地方在来線への減収補填を含めた路線維持確保策を国として検討すること。
- 4 生活路線となっている地方在来線においては減便や駅の無人化等の急進的な合理化を一方的に進めることがないよう、鉄道事業を管轄する国として監視すること。

本会議や委員会等はどこからでも
傍聴することができます。

詳しいお問い合わせは市議会事務局へ ☎66-1060

議会を傍聴してみませんか

手話通訳者・要約筆記者を配置できます

聴覚等に障害のある方が本会議等を傍聴される場合は、事前予約により、手話通訳者・要約筆記者を配置します。

ご希望の方は、傍聴予定日の7日前の午後5時までに「手話通訳・要約筆記申込書」に必要事項を記入の上、窓口へ持参、またはメール、FAX、郵送によりご提出ください。

なお、日程の都合などにより、手話通訳者・要約筆記者が配置できない場合がありますのでご了承ください。

詳しくはホームページをご覧ください。

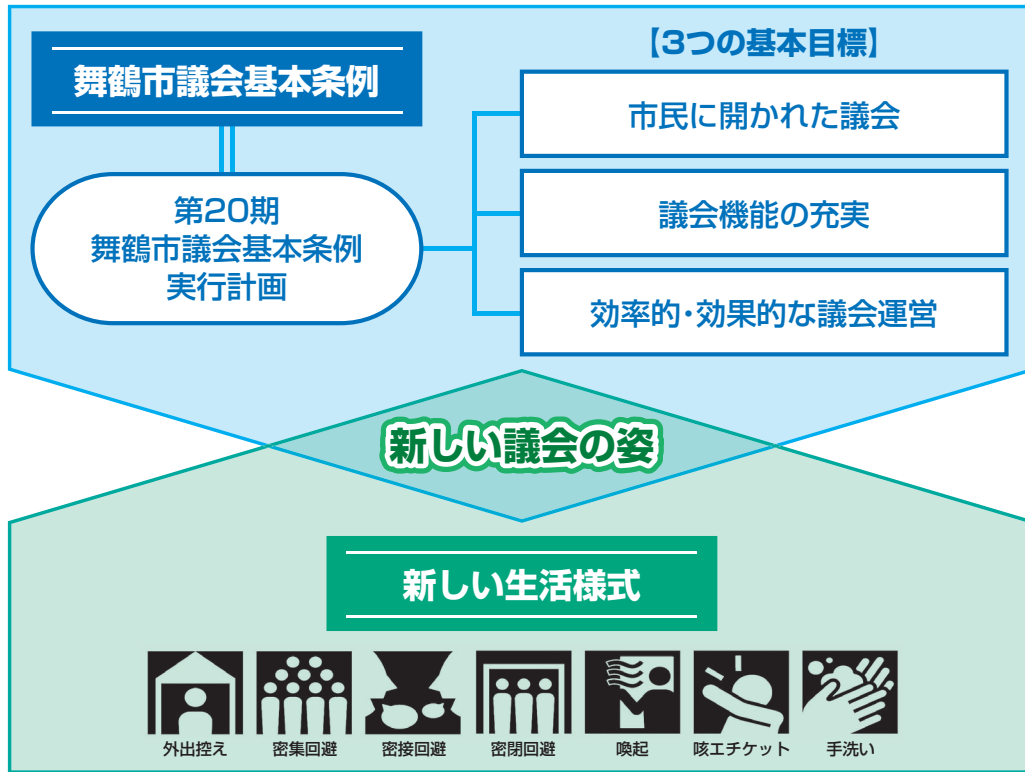


「新しい議会の姿」を目指した取り組み
オンライン会議に係る条例改正

議会運営の新たな形

～議会運営の新たな形～

「新しい議会の姿」を目指した取り組み



舞鶴市議会では、議会基本条例に基づいて、「新しい生活様式」を踏まえつつ、議会の役割や機能をさらに充実・強化していく「新しい議会の姿」を目指すさまざまな取り組みを実施しています。

取組内容: ICTを活用した議会の「見える化」と「機能の強化・効率化」

● 議場システム改修

議場の音声や映像配信のシステムを改修します。これにより、配信される音声、映像が向上します。機器の更新による「聞き取りやすさ」や「見やすさ」の向上。



▲ 2画面表示のイメージ

● オンライン会議

議員が会議場所に来ることができない状況や緊急時においても議論によって結論を出すこと、また、効率的な会議運営を可能とするため、関係する条例を改正し、インターネットによるオンライン会議を導入しています。



▲ オンラインで開催した議会運営委員会

● 委員会の映像配信

議案の詳細な審査を行う常任委員会等の映像を、インターネットを通じて配信します。



▲ 映像配信のイメージ

● オンライン視察

先進的な取り組みを効率よく調査するため、オンラインによる視察を実施しています。



▲ オンライン視察

詳しくは、ホームページをご覧ください。





1日当たりの平均活動時間 [全議員 (26人) の平均]

(単位: 時間)

	平日昼	平日夜	土日祝日	1日平均
議会活動	1.6	0.0	0.0	1.2
議員活動	2.3	0.6	2.3	2.7
その他	0.6	0.5	1.8	1.3
合計	4.5	1.1	4.1	5.2

土日祝日を合せて
毎日5.2時間の
活動がある。

議員

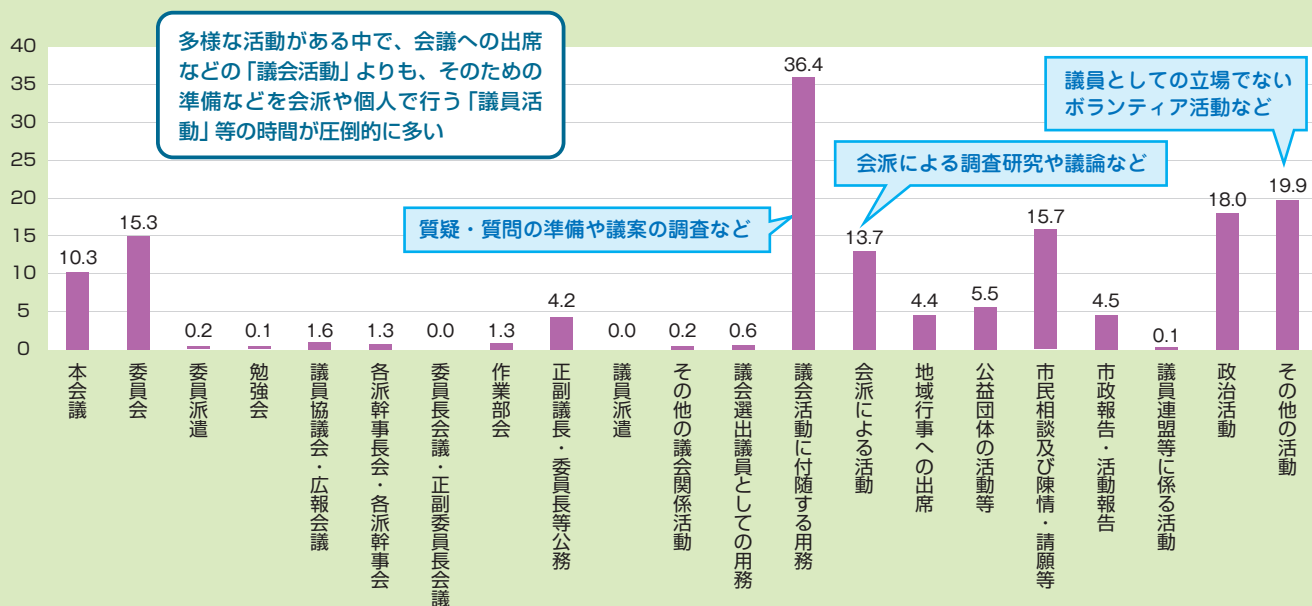
って何をつらいつけるの?!

《議員の活動の「見える化」に関する調査結果》

議員のことをもっと知っていたくために、議員全員が、令和3年2月から4月までの3カ月間の活動時間を活動内容別に記録し、それを集計して、議員がどのような活動をどれくらいしているのか、活動時間の「見える化」を図りました。

活動区分	活動内容		
議会活動	本会議	本会議への出席	
	委員会	常任委員会・議会運営委員会・特別委員会・理事会・連合審査会への出席	
	委員派遣 (市内・市外調査視察)	委員会又は議会報編集部会の調査視察・現地視察への出席	
	勉強会	議長の主催する勉強会、委員会所管に係る勉強会、事務局からの事務的な説明会への出席	
	議員協議会・広報活動 (部会含む)	協議・調整する場として位置づけられた会議への出席	
	各派幹事長会・各派幹事会	会派代表者の会議への出席	
	委員長会議・正副委員長会議	委員会委員長等の会議への出席	
	作業部会	作業部会への出席	
	正副議長・委員長等公務	正副議長を充て職とする各種行事及び会議への出席、各種会議等の打ち合わせ	
	議員派遣	議員研修会や意見交換会への参加	
	その他の議会関係活動	議会として参加を決定した行事への参加 (議員総会など)	
議員活動	議会選出議員としての用務	監査委員、広域連合議会議員 (後期高齢者医療・地方税機構)、都市計画審議会委員	
	議会活動に付随する用務	質疑、質問の準備 (ヒアリング含む)、議案熟読、報告書・議会報・FM放送原稿などの執筆	
	会派による活動	会派会議、政務活動費を活用した活動等	
	地域行事への出席	地域団体や学校等が主催する行事、市等が開催する地元説明会への出席・参加 (準備等を含む)	
	ボランティア活動、文化・スポーツ団体、公益団体の活動	議員の立場で活動。行事等への出席・参加 (準備等を含む)	
	市民相談及び陳情・請願等	市民・地域・団体等からの要望等の受領及び行政への陳情、地域課題の把握や解決のための活動	
	市政報告・活動報告	市民・地域・団体等に対する市政や活動の報告	
	議員連盟等に係る活動	山陰新幹線京都北部ルート誘致推進舞鶴市議員連盟等に係る活動	
	その他	政治活動	政党活動、後援会活動、選挙活動
		その他の活動	上記以外の活動 (議員としての立場でないボランティア活動など)

議員 1人当たりの 1カ月間の平均活動時間 [令和3年2月から令和3年4月までの平均]



多様な活動がある中で、会議への出席などの「議会活動」よりも、そのための準備などを会派や個人で行う「議員活動」等の時間が圧倒的に多い

質疑・質問の準備や議案の調査など

会派による調査研究や議論など

議員としての立場でないボランティア活動など

令和3年6月25日と26日に市内の各種団体の皆さんと、議員定数に関する意見交換を行いました。

定数に係る意見交換会 令和3年わがまちトーク中止のお知らせ
FMまいづるに出演紹介 9月定例会の予定



**議員定数に関する
意見交換会を開催**

6月25日(金)・26日(土)

「削減」と「現状維持」

令和3年6月25日(金)と26日(土)の2日間に分けて、市内の各種団体からお越しいただいた皆さん(合計15人)と、議員定数に関する意見交換を行いました。

ご参加いただいた皆さんからのご意見は、議員定数について、「削減」と「現状維持」が、おおむね半数ずつでした。

「削減」の理由としては、人口減少や財政面などが挙げられ、「現状維持」の理由としては、議会のチェック機能の低下に対する懸念や、現在の議員の人数で人口が減らないように努力すべきなどの意見がありました。

皆さんからいただいたご意見も踏まえてさらに議員同士で議論を深め、本年11月には、議会として責任ある結論を導き出します。

御参加いただいた皆さんの所属団体

- 舞鶴自治連・区長連協議会
- 特定非営利活動法人
まいづるネットワークの会
- 舞鶴商工会議所青年部
- 舞鶴商工会議所
- 舞鶴市老人クラブ連合会
- 中舞鶴婦人会
- 舞鶴工業高等専門学校
- 公益社団法人舞鶴青年会議所

令和3年

**「市民と議会の
わがまちトーク」
中止のお知らせ**



市民参加の皆さんと議員がワークショップ形式で意見交換を行う「市民と議会のわがまちトーク」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年に引き続き、本年も中止させていただくこととしました。

何とぞ、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

9月定例会予定

9月

- 2日(木) 本会議(開会・提案説明)
- 9日(木) 請願受理締切
- 14日(火) 本会議(代表質問)
- 15日(水) 本会議(一般質問)
- 16日(木) 本会議(一般質問、議案質疑)
- 21日(火) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 22日(水) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 24日(金) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 27日(月) 予算決算委員会分科会・常任委員会
- 30日(木) 予算決算委員会

10月

- 6日(水) 本会議(委員長報告・質疑・討論・採決・閉会)

※予定は変更することがあります。

**これまでの
主な放送テーマ**

- 「定例会の案内、議案紹介、審査報告」
- 「常任委員会視察報告」
- 「本会議や委員会の傍聴について」
- 「議場の中の様子などについて」
- 「舞鶴市議会のホームページ紹介」
- 「行政視察の受入状況について」
- など

お聴きください。

舞鶴市議会では、毎月1回、FMまいづるの「ななこちゃったラジオ」(午後3時から、再放送は午後9時から)に議員が出演しています。定例会の報告をはじめ、議会の仕組みや議員の活動についても話していますので、ぜひお聴きください。



次回の放送予定やこれまでの放送内容について詳しくは、ホームページからご覧いただけます。



舞鶴市議会では、毎月1回、

FMまいづるに出演しています

舞鶴市議会広報に関するアンケート

1 年齢を教えてください。 _____ 歳

2 舞鶴市議会は「市民に開かれた議会」を目指し、様々な手法で情報を発信しています。舞鶴市議会の情報をどのような方法で得られますか。お尋ねします。(複数回答可)

- まいづる市議会だより
- FMまいづるの番組「ななこちゃったラジオ」議員出演
- 舞鶴市議会のホームページ
- 本会議の中継(録画)映像
- 舞鶴市議会公式フェイスブック
- 議員
- その他 (_____)
- 議会情報の取得方法を知らない→問5へ

3 「まいづる市議会だより」についてお尋ねします。

(1) 興味のある記事は何ですか。(複数回答可)

- 議会のあらまし
- 常任委員会の審査報告
- 討論の内容
- 議案の採決結果
- 代表・一般質問
- 決議・討論
- 視察報告
- 意見書
- 議会の取組記事
- その他 (_____)

(2) 改善が必要だと思われる記事とその理由は何ですか。(複数回答可)

- 議会のあらまし
 - 常任委員会の審査報告
 - 討論の内容
 - 議案の採決結果
 - 代表・一般質問
 - 決議・討論
 - 視察報告
 - 意見書
 - 議会の取組記事
 - その他 (_____)
- ※ 理由 (_____)

へ
谷
折
へ

のりとし

(3) 紙面レイアウト(字の大きさ、余白、文字数、ページ数等)は適切ですか。

- 適切
- 適切でない

(4) (3)で適切でない理由は何ですか。

(5) 今後新たに掲載したらよいと思う記事はありますか。(例) 議員投稿欄など

4 FMまいづる「ななこちゃったラジオ」への議員の出演についてお尋ねします。

毎月1回程度(金曜日の15時から、同日21時から再放送)議員が出演し、市議会の情報を発信しています。この放送で、聴いてみたいテーマを教えてください。

5 舞鶴市議会の広報活動についてのご意見、ご感想などご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

のりとし

のりとじ

料金受取人払郵便

東舞鶴局
承認
342

差出有効期限
令和3年9月
30日まで
(切手不要)

6 2 5 8 7 9 0

舞鶴市議会
広報会議行

舞鶴市字北吸一〇四四番地

〈山折〉



舞鶴市議会広報に関する
アンケートにご協力ください

舞鶴市議会では、「市民に開かれた議会」の実現を目指し、議員および議会の役割や活動について、市民の皆さんにより広く知っていただくための効果的な広報活動について、検討しております。さらなる広報の充実に向け、読者の皆さんにアンケートを実施することにいたしました。無記名により設問にお答えいただき、ご協力をお願いいたします。

アンケートの結果は、市議会だより9月定例会号(11月中旬発行予定)で報告いたします。その結果につきましては、今後も市民の皆さんに舞鶴市議会の活動をご理解いただけますよう努めていくため、活用してまいります。

アンケートの回答方法

1 郵送

この市議会だよりを切り取っていただき、お送りください。(切手不要)

2 FAX 0773 (62) 7666

27ページ(アンケートのページ)を切り取ってファクスしてください。

3 舞鶴市議会ホームページ

舞鶴市議会

検索

<https://logoform.jp/form/VThm/25947>



● アンケート締切日

令和3年9月16日(木)(消印有効)で締切りとさせていただきます。

のりとじ

のりとじ